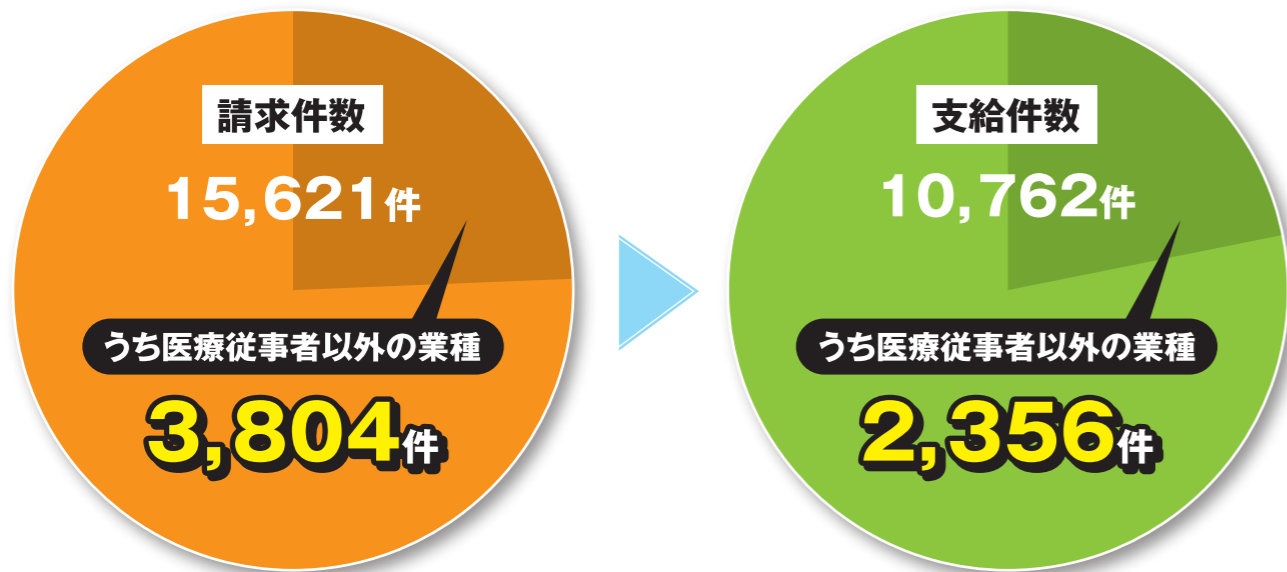


新型コロナウイルス感染症に関する労災請求件数



労災の認定事例

建設業

Eさんは、勤務中、同僚労働者と作業車に同乗していたところ、後日、作業車に同乗した同僚が新型コロナウイルスに感染していることが確認され、当該同僚から感染したと認められたことから、支給決定された。

製造業

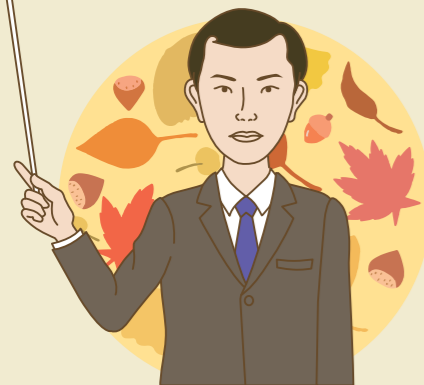
感染経路は特定されなかったが、Aさんは、発症前14日間に、会社の事務室において品質管理業務に従事していた際、当該事務室でAさんの他にも、新型コロナウイルスに感染した者が勤務していたことが確認された。このため、Aさんは、感染リスクが相対的に高いと考えられる労働環境下での業務に従事しており、私生活での行動等から一般生活では感染するリスクが非常に低い状況であったことが認められたことから、支給決定された。

飲食業

感染経路は特定されなかったが、Bさんは、発症前14日間に、日々数十組に接客を行う等感染リスクが相対的に高いと考えられる労働環境下での業務に従事しており、私生活での行動等から一般生活では感染するリスクが非常に低い状況であったことが認められたことから、支給決定された。

※ 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に係る労災認定事例

ゆうすけの Best Advice



経営者様、企業様の中で労災リスクに対する危機意識を持たれている割合が増えています。

今までは「うちの従業員に限って」「みんな関係性はいいから」そういった声が多いというのが現状でした。

しかし「従業員」だけではなく、「従業員のご家族」「友人」との関係性まで考えたことはありますか。情報社会の今、従業員本人が考えていない場合でも他方向から話を聞いて会社を訴えるといった可能性があります。

私たちは、未来を目指す企業にとって避けては通れないリスクであると確信しており、今後ますます力を入れて普及を目指す商品と位置付けています。

皆様の挑戦を支えていくため、私たちも新しい挑戦を続けています。

今一度、労災リスクに備える準備を見直してみましょう。



賠償シリーズ②

新型コロナウイルス感染症の猛威
会社への影響は売上だけではなく

感染拡大は
売上への影響だけと
思っていないませんか？



「会社の管理不足で
うちの旦那が感染してしまった」

こんな連絡が従業員のご家族から急に来たとき、
会社としてどのように対応しますか？

感染が拡大する中、
従業員を守るため会社を守るための対策を
考える必要があると私たちは考えます。